



雲南市議会と二林鎮議員団 R5.9.26

歓迎

ショウカケン ジリンチン
台湾彰化縣 二林鎮議員団



シュウショウツ
許秀治議長から矢壁正弘議長へ記念品贈呈



補正予算可決

(補正後予算総額335億4,230万円)

●公共土木災害総務管理事業 **【新規】**
市道多久和六重線地すべり調査業務



2,211万円

●文化施設大規模改修事業 **【拡充】**
加茂文化ホール・ラメール舞台設備改修設計業務



565万円

令和5年9月定例会を9月4日から26日までの23日間の会期で開催しました。
 条例その他11件、補正予算8件、決算認定8件、諮問3件、報告7件が上程され、慎重に審議した結果、原案通り可決・認定しました。
 令和5年第1回臨時会は8月22日に開催、補正予算1件、報告1件が上程され、また、令和5年第2回臨時会は10月2日に開催、補正予算2件、諮問1件が上程され、いずれも慎重に審議した結果、原案通り可決しました。

◆令和5年 第2回臨時会 10月補正予算可決
 一般会計 **8,000万円**(補正後予算総額 336億2,230万円)

●・・・反対 ※・・・欠席

多賀 法華	安田 栄太	児玉 幸久	上代 純子	鶴原 能也	梶谷 佳平	宇都宮 晃	上代 和美	中林 孝	松林 孝之	中村 辰真	原 祐二	佐藤 隆司	周藤 正志	細田 実	藤原 信宏	白築 俊幸
○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	※	○	○	○	○	○	○

令和5年度9月

一般会計 補正額14億9,000万円

● 公共施設解体撤去事業【拡充】

旧三刀屋総合センター別館解体工事



6,479万円

● 国道54号三刀屋拡幅関連事業

【拡充】

都市計画道路新町1号通切線



1,004万円

◆ 令和5年 第1回臨時会 8月補正予算可決

一般会計 2,910万円(補正後予算総額 320億5,230万円)

令和5年9月定例会・第2回臨時会の採決結果 (議案及び認定、諮問で賛否の分かれたもの) 議長は採決に加わりません 「○」・賛成

	議案名	採決結果
令和5年9月定例会	令和5年度雲南市一般会計補正予算(第5号)	可決
	令和4年度雲南市一般会計歳入歳出決算認定について	可決
	令和4年度雲南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決
	令和4年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決
令和5年第2回臨時会	「島根原子力発電所1号機の廃止措置計画変更」に係る意見及び回答につき意見を求めることについて	可決

9月定例会主な一般会計補正予算（第5号）

（単位：千円）

事業名等	内 容	補正額	補正後総額	備考
庁舎施設整備事業	行政財産としての利用を見込み、未使用となっている工業用水道施設（第2ポンプ所）用地及び従物を取得する。	139,511	618,611	拡充
公共施設解体撤去事業	旧三刀屋総合センター別館解体工事	64,790	66,385	拡充
大規模事業等基金積立金	雲南広域連合の出資金返還金を原資として、元金を積み立てる。	137,858	139,358	拡充
児童福祉施設整備事業	木次子育て支援センター建設事業に係る各種業務委託費の実績見込みに伴う減及び造成工事費の増	4,002	37,002	拡充
人工透析医療通院送迎支援補助金	人工透析医療通院送迎車両購入費補助金	1,264	3,664	拡充
有害鳥獣捕獲奨励事業	年間捕獲頭数見込み増による有害鳥獣捕獲報奨金の増	12,107	54,747	拡充
工業用水道事業会計補助金	工業用水道事業会計の企業債繰上償還に係る補助金	277,437	277,437	新規
林地崩壊防止事業	復旧工事費（6箇所分）の増	60,000	70,400	拡充
道の駅等の既存観光施設活性化推進事業	さくらの里さすき隣接公園の造成に向けた景観設計、防災設備等の検討、各種手続き申請関連事務経費等	8,304	16,325	拡充
国道54号三刀屋拡幅関連事業	都市計画道路新町1号通り線道路交差点等設計業務の増及び物件補償費	10,040	74,640	拡充
教育施設等解体撤去事業	大東体育文化センター解体設計費	7,000	7,000	新規
中学校特別支援学級設置事業	令和6年4月に新設予定の大東中学校特別支援学級の設置工事費	4,664	4,664	新規
木次中学校建設準備事業	木次中学校改築整備に伴う基本構想策定支援に係る業務委託	3,000	3,272	拡充
文化施設大規模改修事業	加茂文化ホール・ラメール舞台設備改修の設計業務	5,654	143,154	拡充
公共土木災害総務管理事業	市道多久和六重線地すべり調査業務	22,110	22,110	新規
市債償還元金	将来の財源負担を軽減するため、繰り上げ償還する。	427,222	4,376,428	拡充

第1回臨時会一般会計補正予算（第4号）（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

（単位：千円）

事業名等	内 容	補正額	補正後総額	備考
地域公共交通緊急対策特別支援事業補助金	一畑バス（株）、（有）スサノオ観光及び（有）谷本ハイヤーの乗合バスの委託運行に対し、昨年に引き続き、松江市、出雲市及び本市で補助金による特別支援	10,000	10,000	新規
運輸業原油価格高騰対策支援事業	原油価格の高騰の影響を特に受けている貨物運送や旅客運送の事業者に対する支援	14,910	14,910	新規
物価高騰対策教育費臨時特別給付金	電力・ガスをはじめエネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面し厳しい状態にある子育て世帯の小中学校の保護者（就学援助費受給世帯）に対する支援	4,190	4,190	新規

第2回臨時会一般会計補正予算（第6号）（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

（単位：千円）

事業名等	内 容	補正額	補正後総額	備考
水道事業会計補助金	水道の料金1か月分を免除する。	80,000	80,000	新規

議案 審議結果

条 例 等	採決結果	採決状況	条 例 等	採決結果	採決状況
雲南市交流センター条例の一部を改正する条例 ・波多交流センターの改修に伴うもの	可決	全会一致	雲南市病院事業等に関する条例の一部を改正する条例 ・市立病院附属波多出張診療所を廃止するもの	可決	全会一致
新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための雲南市職員の特殊勤務手当の特例に関する条例を廃止する条例 ・人事院規則の一部改正に伴い、新型コロナウイルス感染症に対処するための防疫等作業手当の特例を廃止するもの	可決	全会一致	雲南市・飯南町事務組合規約の一部を変更する規約 ・雲南市・飯南町事務組合が奥出雲町から委託を受けて行う一般廃棄物（ごみ）の処理施設に係る調査及び研究に関する事務の廃止及び令和4年3月31日をもって出雲市への事務の委託を廃止した旧出雲エネルギーセンターへの可燃ごみの処理に関する事務の負担金について改めて規約に定めるもの	可決	全会一致
特定新型インフルエンザ等により生じた事態に対処するための雲南市職員の特殊勤務手当の特例に関する条例の制定 ・人事院規則の一部改正に伴い、特定新型インフルエンザ等に対処するための防疫等作業手当の特例を定めるもの	可決	全会一致	雲南市・飯南町事務組合と奥出雲町による一般廃棄物（ごみ）の処理施設に係る調査及び研究に関する事務委託の廃止 ・令和5年10月30日をもって雲南市・飯南町事務組合と奥出雲町による一般廃棄物（ごみ）の処理施設に係る調査及び研究に関する事務委託を廃止するもの	可決	全会一致
雲南市児童クラブ条例の一部を改正する条例 ・斐伊児童クラブの開設時間の拡大及び申請手続きを整理するもの	可決	全会一致	字の区域の変更 ・神原企業団地内用地の字の区域を変更するもの	可決	全会一致
雲南市空き家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例 ・空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正による所有者の責務強化、特定空き家化の未然防止など必要な措置を講ずるもの	可決	全会一致			

条 例 等	採決結果	採決状況
令和4年度雲南市水道事業会計利益の処分及び決算の認定 ・令和4年度会計決算に伴う利益の処分について及び決算について監査委員の意見をつけて議会の認定に付するもの	可決及び認定	全会一致
令和4年度雲南市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定 ・令和4年度会計決算に伴う利益の処分について及び決算について監査委員の意見をつけて議会の認定に付するもの	可決及び認定	全会一致

予 算	採決結果	採決状況
令和5年度雲南市一般会計補正予算(第5号) ・補正額 1,490,000千円 補正後の額 33,542,300千円	可決	賛成多数
令和5年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ・補正額 11,768千円 補正後の額 4,182,607千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) ・補正額 11,140千円 補正後の額 1,241,140千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号) ・補正額 4,363千円 補正後の額 1,282,753千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市水道事業会計補正予算(第2号) 【収益的収支】 ・水道事業費用 補正額 7,379千円 補正後の額 1,282,325千円 【資本的収支】 ・資本的収入 補正額 3,270千円 補正後の額 265,453千円 ・資本的支出 補正額 3,900千円 補正後の額 797,930千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市工業用水道事業会計補正予算(第1号) 【収益的収支】 ・水道事業収益 補正額 45,591千円 補正後の額 47,737千円 ・水道事業費用 補正額 73,891千円 補正後の額 105,596千円 【資本的収支】 ・資本的収入 補正額 387,031千円 補正後の額 387,031千円 ・資本的支出 補正額 247,521千円 補正後の額 281,668千円	可決	全会一致

予 算	採決結果	採決状況
令和5年度雲南市下水道事業会計補正予算(第2号) 【収益的収支】 ・下水道事業収益 補正額 7,459千円 補正後の額 1,066,585千円 ・下水道事業費用 補正額 312千円 補正後の額 944,135千円 【資本的収支】 ・資本的支出 補正額 366千円 補正後の額 918,402千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市病院事業会計補正予算(第1号) 【収益的収支】 ・病院事業収益 補正額 38,211千円 補正後の額 4,869,031千円 ・病院事業費用 補正額 28,178千円 補正後の額 5,608,342千円	可決	全会一致

認 定	採決結果	採決状況
令和4年度雲南市一般会計歳入歳出決算認定 ・監査委員の意見をつけて議会の認定に付するもの。以下同	認定	賛成多数
令和4年度雲南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	賛成多数
令和4年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	賛成多数
令和4年度雲南市農業労働災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全会一致
令和4年度雲南市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全会一致
令和4年度雲南市財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定	全会一致
令和4年度雲南市工業用水道事業会計決算認定	認定	全会一致
令和4年度雲南市病院事業会計決算認定	認定	全会一致

諮 問	採決結果	採決状況
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること 3件 ・市長が市議会の意見を聞いて人権擁護委員の候補者を推薦するもの 氏名：岡田尚子さん、藤原重信さん、安食恵治さん	適任	全会一致

報 告
経営状況の報告 4件 ・雲南市土地開発公社 ・株式会社キラキラ雲南 ・雲南都市開発株式会社 ・公益社団法人鉄の歴史村地域振興事業団
市有林の信託に係る事務処理状況の報告について ・雲南市有林の信託に係る事務処理状況を議会に報告するもの
令和4年度決算に基づく健全化判断比率の報告 ・決算に基づく健全化判断比率を議会に報告するもの
令和4年度決算に基づく資金不足比率の報告 ・公営企業の決算に基づく資金不足比率を議会に報告するもの

令和5年第1回臨時会 議案 審議結果

予 算	採決結果	採決状況
令和5年度雲南市一般会計補正予算(第4号) ・補正額 29,100千円 補正後の額 32,052,300千円	可決	全会一致

報 告
議会の委任による専決処分の報告 ・専決処分した市の義務に属する損害賠償の額を報告するもの

令和5年第2回臨時会 議案 審議結果

予 算	採決結果	採決状況
令和5年度雲南市一般会計補正予算(第6号) ・補正額 80,000千円 補正後の額 33,622,300千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市水道事業会計補正予算(第3号) 【収益的収支】 ・水道事業収益 補正額 1,000千円 補正後の額 1,371,602千円 ・水道事業費用 補正額 8,275千円 補正後の額 1,290,600千円	可決	全会一致

諮 問	採決結果	採決状況
「島根原子力発電所1号機の廃止措置計画変更」に係る意見及び回答につき意見を求めること ・令和5年8月8日付けで中国電力株式会社から「島根原子力発電所に係る出雲市民、安来市民及び雲南市民の安全確保等に関する協定」に基づき報告のあった「島根原子力発電所1号機の廃止措置計画変更」について、同協定の規定により意見書を提出すること及び同日付けで島根県から「島根原子力発電所周辺地域住民の安全確保等に関する協定」に係る覚書」に基づく意見照会への回答につき、議会の意見を求めるもの。	可決	賛成多数

総務常任委員会

委員長 中村辰真

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された6件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(主な予算の審査状況)

・令和5年度雲南市一般会計補正予算(第5号)

①市民環境部所管、徴収事業80万9千円は、eL T A X(地方税共通納税システム)の税目追加に伴う、滞納管理システム連携仕様の改修経費です。

問 システム改修の内容がわかりにくい。

答 今回、市民の皆さんとの間に、「納めた、納めていない」などの行き違いが発生しないように、滞納管理システムの連携仕様を改修し、事務の効率化を図りたい。

②防災部所管、消防施設整備事業350万円は防火水槽2基の整備に伴う工事費及び分筆登記業務委託料の増額です。



工事中の地下埋設型防火水槽

問 予算が不足したため増額補正との説明であったが、どの様な内容で不足が生じたのか。

答 今年度2基を計画していたが、設置場所について実際に積算をしたところ工事費不足が生じたこと、また用地について分筆が必要になったことである。今回設置する2基のうち1基はすでに工事を発注しているが、2

基目については、地元及び地権者との協議をすでに終えて実施する予定である。

③政策企画部所管、民間賃貸住宅家賃助成事業補助金72万円は民間賃貸住宅家賃助成事業の見込み件数の増による増額です。

問 補助金の積算は、平均何部屋の何か月分になるのか。

答 内訳としては、市内事業所に勤務し、雲南市にいられた方で民間賃貸住宅を借りる方、1か月2万円の補助で、

10月から3月までの6か月分で1組12万円の6件分である。現在17件の申請があり、県外からの転入が3件、県内からの転入が11件、市内の移動が3件である。

教育民生常任委員会

委員長 原 祐二

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された12件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市児童クラブ条例の一部を改正する条例について

この条例は、斐伊児童クラブの開設時間の拡大及び申請手続きの整理に伴い、条例を改正するものです。

問 市内児童クラブの土曜日開所の状況、延長利用において、児童クラブにより単位時間(10分・30分)が異なるのは何故か。

答 通常、土曜日は開所している。単位時間は、クラブ毎の運営の違いによるもので、管理システムを導入しているクラブでは、10分単位で対応している。

・雲南市病院事業等に関する条例の一部を改正する条例について

この条例は、雲南市立病院附属波多出張診療所を廃止することに伴い、改正するものです。

問 波多出張診療所の廃止による医療(診療)体制は。

答 波多交流センター・健康相談室での掛合診療所による巡回診療に変更する。第1・第3金曜日の診療は維持し、カルテの一元化やスムーズな訪問診療が可能となる。

(主な予算の審査状況)
・令和5年度雲南市一般会計補正予算(第5号)
①人工透析医療通院送迎支援補助金126万4千円は、市内で人工透析医療通院送迎サービスを提供する医療機関へ、送迎車両購入費用の3分の1を補助するものです。

問 閉院された市内医療機関から、転院された17

委員会報告

名の患者と2台の車両を引き継いだ市内医療機関の送迎体制は。

答 送迎委託は、2事業者から3事業者に増やし対応されている。

②木次中学校建設準備事業300万円は、中学校改築整備に伴う基本構想策定支援に係る業務委託費です。



老朽化した木次中学校

問 中学校の建設場所・コンセプトをまとめた後、プロポーザルによる業務委託の発注をするのか。

答 委託業務は基本構想の策定支援であり、検討

委員会で選定した建設候補地に関する資料を作成することなどが、その業務である。

・令和5年度雲南市病院事業会計補正予算（第1号）

病院事業費用・修繕費712万円のうち159

産業建設常任委員会

委員長 中林 孝

（議案の審査）

本委員会に付託及び委託された13件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

（条例等の審査状況）

・雲南市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例について

この条例は空家特措法の一部改正によるもので

問 空き家の所有者「等」となっているが「等」の意味は何か。相続放棄した場合に対応できるか。

答 所有者は勿論である

万5千円は、AI問診導入費用です。

問 1月からの開始に向けての準備及び高齢者への配慮は。

答 院内の調整と共に患者さんへのメリットを市報・ケーブルテレビ・HP等により周知する。

が、物件の相続人や管理者も含まれる。また、不存者、相続放棄の場合には管理者の選任手続きをとれば財産管理人に対し措置が可能である。

（主な予算の審査状況）

・令和5年度雲南市一般会計補正予算（第5号）

①有害鳥獣捕獲奨励事業1,210万7千円は駆除頭羽数見込増により増額補正するものです。

問 増額の必要性は理解するが、捕獲したイノシシの多くが埋設処分されており、次期可燃ごみ焼

却炉以外の処分施設の検討が必要ではないか。

答 可燃ごみ焼却炉も一つの方法であるが減容化施設、簡易な鳥獣専用プラントもあり検討を進める。減容化施設は研究のうえ方針を決めたい。

②道の駅等既存観光施設活性化推進事業830万4千円は道の駅さくらの里さすきの隣接地を防災公園として整備する計画で、その設計費等です。

問 この事業の推進の流れは不可解だ。ビジョンも確定しないまま、いつのまにか道の駅活性化事業が防災拠点に変わった。4つの道の駅の施設整備計画が煮詰まってい

ない中、うやむやに事業が実施されようとしている。大型のハード事業でこのような進め方は見たことがない。今後のスケジュールや全体像を示して進めるべきではないか。

答 食の発信推進事業を取りやめ方向転換したもので説明が不足してい

た。急いでやることだけで進めてきて、手続きや説明が足りなかった。

問 道の駅活性化で一番大切なのは集客増だ。メインとなる集客に触れられておらず、これでは活性化につながらない。

答 防災公園は道の駅の集客増加につながる。産直の活性化の具体策はな



道の駅さくらの里さすき

決算審査特別委員会

委員長 佐藤隆司

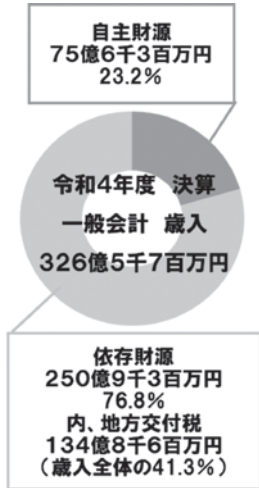
(議案の審査)

令和4年度決算認定は、決算審査特別委員会を設置し審査しました。本委員会に付託された議案2件、認定8件は各分科会に委託して審査し、全て可決及び認定すべきものと決定しました。

(決算の概要)

一般会計の歳入総額から歳出総額の差引額は、10億1千3百万円余で、

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	32,656,664,691	31,643,631,612	1,013,033,079
特別会計	6,601,752,004	6,577,415,232	24,336,772
計	39,258,416,695	38,221,046,844	1,037,369,851



翌年度へ繰り越すべき財源3億9千5百万円余を差し引いた実質収支は6億1千7百万円余の赤字である。

特別会計の歳入総額から歳出総額の差引額は、2千4百万円余、翌年度へ繰り越すべき財源は大きく実質収支は2千4百万円余の黒字となった。

一般会計歳入のうち、市税等自主財源は75億6千3百万円余(23.2%)、地方交付税等依存財源は250億9千3百万円余(76.8%)となっており、歳入全体の41.3%を地方交付税に依存する状況である。

普通会計(一般会計)

農業労働災害共済事業特別会計)における財政健全化に基づく財政指標の実質公債費比率10.9%、将来負担比率95.7%は、いずれも対前年度比は低下しているが、5年後の財政見通しでは厳しい状況が示されている。今後、起債発行と起債償還のバランスをとって財政健全化を図り行政運営を進める必要がある。

また、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行や燃油等の高騰による物価高騰は市民の安心安全な暮らしに大きな影響が生じてきている。加えて、災害復興対策、人口減少、少子高齢化対策など、本市にとって喫緊の課題は山積しており、県市長会等を通じ島根県、国に対し地方の窮状を強く訴えていくよう求めると共に、行政改革、特に「公共施設等総合管理計画実施方針」の推進や事務事業の見直しなど市民の理解を

得つつ経費縮減に努め、多様化する市民ニーズに応え、市民が安心して暮らせる行政サービス・運営を図り、市民の誰もが安心安全な暮らしができる雲南市となることを求めました。

(分科会の概要)

●総務分科会

財産運用における有利な資金運用や人権センターの業務のあり方について質疑がありました。

また、子育て世帯定住宅地購入支援について、補助金利用者からは「制度により助かっている」「この補助金があったから今回雲南市で土地を購入した」という声が寄せられているとの答弁でした。

●教育民生分科会

高齢者等バス・タクシー利用料金助成は利用状況の把握と見直しを検討する必要があることや脱炭素社会構築には、市民意識を啓発し全市的な取り組みを目指すこと、

●産業建設分科会

市水道及び下水道事業の剰余金処分の考え方を質疑しました。また、加茂スマートインターチェンジは、令和4年度供用開始後の利用状況はとの問いに対し、目標は235台/日としているが、直近の利用状況は約160台/日である。今後、企業団地の整備が進むことを期待し、観光振興課とも連携していくとの答弁でした。



改築が急がれる掛合体育館

社会体育施設の大東体育文化センター、木次体育館、掛合体育館の3体育館の今後の対応について早期の方針決定を求めました。

委員会視察報告

委員会視察報告

総務常任委員会

高知県香美市 災害に対する危機管理について

徳島県海陽町 DMVデモバイヤーの活用について

徳島県三好市 地域づくり事業協同組合について

7月19日から21日に、市民の「安心安全」をテーマに3か所を視察しました。

香美市では、災害は何時どこで発生するか分からない、その備えとして小規模避難所から大規模避難所を含め、避難所運営マニュアルを作成し、

毎年、雲南市も人命第一から、毎年、避難訓練実施・避難所運営マニュアルの更新が重要と感じました。

香美市役所を視察



海陽町では、阿佐海岸鉄道(株)が運営するDMV(一般道を走るバスが鉄道線路の両方を走行できる乗物)を視察しました。木次線への利活用は①導入費用が高額②動力はバスの後輪タイヤを利用するため雨雪に弱い、などの問題を感じましたが、導入後、一般利用客減少が続くものの、観光客の利用増には寄与している

と感じました。三好市では、いち早く特定地域づくり事業協同組合制度を立ち上げており、地域の人手不足解消等の状況を視察しました。求職者は、ある程度技術や知識を持った方が応募することから高い賃金を希望されますが、実際に支払われる賃金はそれに応じていないため面接時点で就職を辞退する人もいる状況です。今後、このギャップをどうするか、問題になっていると感じました。



DMV に試乗

教育民生常任委員会

北海道札幌市

風力発電に関する調査研究について

北海道千歳市

義務教育学校と小規模特認校制度について

北海道北広島市

ごみ処理の広域化について

7月18日から20日に、北海道内4か所の視察を行いました。

環境省北海道地方環境事務所では、環境影響評価法に基づく、風力発電の事例を紹介いただきました。また、本市で計画されている、大出日山風力発電に対して、景観・

札幌市立義務教育学校 福移学園



小規模の良さを活かした教科担任制学習、自然などを感じて学ぶ特色ある教育により、のびのびとした子どもたちが育っていました。

千歳市の道央廃棄物処理組合は、広域連携による環境・経済・技術・サービスのメリットを生かし、令和6年4月から2市4町により、

委員会視察報告



北広島団地地域サポートセンターにおいて
(廃校リノベーション)

ごみ処理施設を稼働され
ます。余剰電力の売却な
ども計画され、今後の雲
南地域での広域ごみ処理
施設計画の参考となりま
した。

北広島市では、廃校と
なった小学校舎を高齢者
福祉サービス・高齢者住
宅・地域交流スペースな
どを備えた複合施設とし
て活用されています。高
齢者や子ども、子育て世
代が集まり、地域のコミ
ュニケーションの拠点
として利用されていました。

また、銭湯を改修して高
齢者デイサービスや世代
間交流の場としても利用
されています。

埼玉県川越市
道の駅川口あんぎょう
農林水産省農村振興局
観光振興計画の取り組み
道の駅活性化事業
所管事項について

8月2日から4日に、
東京都、埼玉県での視察
を行いました。

川越市は、都心から地
下鉄直通電車等が乗り入
れ、30分から1時間程度
でアクセスできる交通の
便に恵まれた立地です。
近年、「時の鐘」など歴
史的な建造物群を目当て
に、国内外の多くの観光
客が訪れて賑わいを見せて
います。こうした建造
物は一時、取り壊されマ
ンションに建て替えられ
ようとした時期がありま
した。その際、地元住民
から保存すべきとの声が
持ち上がり、保存の方向
へ舵が切られたそうです。
今は賑わいを見せていま

川口市は人口
60万人を超える中
核市、あんぎょう
は都心から15kmの
距離にあります。
川口市の伝統産
業である、植木・
花・造園等の振興
を図り、緑化産業
のための情報収集
提供する施設です。
雲南市とは人口や

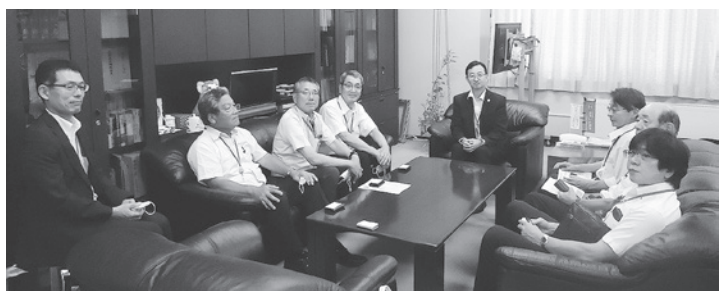


道の駅あんぎょうの緑化センター

したが、①観光客の日中の
滞在時間が短く、客数の
伸び悩み②外国人観光客
の受け入れ環境が不足③
地域内外との連携不足、
などの課題があり、
雲南市としても参
考となる点があり
ました。

立地条件は大きく異なり
ますが、四季を通じた花
と緑に関する展示会やイ
ベントの開催は、雲南市
の道の駅活性化のために
参考となりました。

農村振興局は、農山漁
村の活性化、農村の定住
条件確保、土地利用、中
山間地域等の振興、農業
農村整備事業、日本型直
接支払制度、鳥獣被害対
策等々、雲南市などの中
山間地域の農業が直面し



せいやま
青山農村振興局次長との面談

ている課題を所管する部
署です。今後の農業農村
の整備方針、農業DX構
想の概要、鳥獣被害対策
捕獲した個体のジビエ利
用・処分を進めるための
交付金等について、説明
を受けました。その後、
直接支払制度や捕獲鳥獣
の減容化施設などをテー
マに意見交換をしました。



質問者の意思を尊重し、本人提出の原稿をほぼそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。QRコードからインターネット配信が見られます。

一般質問

答 猟友会から焼却施設整備を求める声を聞いています。次期可燃ごみ処理施設において駆除個体焼却処分への検討を進めます。

問 有害鳥獣対策は、個体数を減らす「駆除」が最も有効な手段だが、年々駆除頭数が増加する一方で、埋設場所も限られ、捕獲者の減少や高齢化が進んで穴を掘って埋めることが大きな負担となっている。解体場所の汚染や臭いなどの環境問題もある。市で、イノシシ等の処理実態を精査し、必要規模の鳥獣専用焼却施設の早期整備を図りたい。また、通常の焼却施設で処理が可能になる減容化（軟化処理）施設整備の見解はどうか。



藤原 信宏

捕獲鳥獣処理施設の整備を急げ



答 各地域自主組織は、毎年、1回以上避難訓練を実施することとなっているが、市民参加型の避難訓練は15組織だけ実

問 市民の生命を守るための防災訓練は、



梶谷 佳平

市民の生命を守るためには



答 雲南地域の2町も考慮されている。広域での処分等について、費用対効果も見極め、最適な処分方法を検討したい。

その中で減容化施設についても検討を深める。
問 費用対効果を念頭に、最適な捕獲鳥獣の処理体系を早急にまとめ、決定すること。その上で、それに沿った必要規模の施設の早期整備を進めるべきと考えるがどうか。

上で有効と考えており、神戸市でも活動実績のある専門家に依頼し、定期的に助言を受けている。

答 市の行政に係る問題であり、組織を挙げて取り組む必要がある。令和4年10月「雲南市DX推進会議」を立上げ、各部署が選出した30名をワーキングチームとし、DX推進に向けた協議を進めている。外部専門人材の活用は、市のDXを進める

問 雲南市ではDX推進専門チームを編成しているのか、全て外注か。

施。残り15組織は、職員のみで安否確認・情報伝達・避難行動等の訓練に留まっている。今後、全ての地域自主組織が訓練するよう努める。
問 雲南市のDX推進の目的はなにか。

答 中学校の水泳授業は機会均等ではないが、学校で身につける能力の大部分は小学校で身につけていると認識している。

問 学校プールのあるなしで、水泳の実技授業の公平性や平等な機会がないのではないか。

問 屋外プール施設の老朽化や教員の負担感、気候変動等で屋外プールでの水泳授業のあり方が問われている。学校プールは、小学校2校、中学校5校にはない。プールの水泳授業の取り組みは、



佐藤 隆司

水泳授業のあり方が問われている



水泳授業で利用されているラソンの温水プール

問 水泳授業をラソンの年間を通してできないか。
答 水泳授業は、泳ぐ技能の習得や水の事故防止もあり、夏休み前に取り組んでいる。冬季の水泳授業は児童生徒の体調管理も必要で、年間を通してラソンの水泳授業は難しいが、夏場の天候不順で、できなかった場合や水泳技能が十分身につけていない児童などに前向きに検討していきたい。



一般質問

成年後見制度の
早期体制整備を



鶴原 能也



問 今後、成年後見を必

要と想定される人数、現在の被後見人の数が、国が作成すべきとしている成年後見制度利用推進基本計画に記載されていないこと、本来短時間で処理すべき緊急性を要する市長申立て案件の処理に時間がかかりすぎていること、成年後見に関する処理業務が福祉業務の一部となっており、兼務での事務処理には限界があること、主要な部分を体制が整っている雲南市社会福祉協議会に頼っていることなど、現在の雲南市の成年後見制度は、十分に機能が発揮できる体制にないと考えるが。

答 これから様々な皆様のご意見を伺いながら、

体制の充実、強化など検討していきたい。

問 産直振興において、

新たに販売先を拡大していく上で、有機・無農薬野菜のような栽培方法にこだわった産直品が求められていると考えるが。

答 雲南産品の価値を主張する上で、有機・無農薬にこだわった商品は大変に重要だと思っている。

そうした取り組みをされる農業者を支援していきたい。

道の駅の防災
拠点化は必要か



中林 孝



問 食の幸発信推進事業

を取りやめ、道の駅を産直市として活用する方針が示されたが一向に姿が見えない。

答 食の幸発信推進事業

を取りやめ産直振興を図るとは言ったが、道の駅の産直市に食の幸発信推進事業と同じ効果を求めるものではない。

問 道の駅の防災拠点化は必要事業か。他にすべきことや進め方に問題はないか。

答 近年、激甚化する災害に対応する道の駅の防災機能の重要性に鑑み、国は防災拠点化を進めている。さくらの里きすきは、国の防災拠点自動車駐車場、市の指定避難所に指定されている。さくらの里きすきは、隣接地を防災公園として整備することにし、設計費を予算化した。防災での説明が不足していたことはある。今後は、こうした点についても改善してまいりたい。

国スポに向けた
準備を急げ



児玉 幸久



問 スポーツ文化振興室

で国スポを担当している職員は何名か。各競技の担当の職員は配置されているか。

答 現在4名の職員で対応。各競技の担当職員は配置していない。来年度、体制を整備して業務を進める。

問 練習会場の確保は大丈夫か。

答 競技会場については、現在、各関係者と協議、相談をして準備を進めている。アスパル2階の交流広場に練習用レスリングマットを4面設置する案などを検討。また、今議会9月補正予算に仮

9月補正予算に仮



加茂B & Gレスリングクラブでの練習の様子

設競技場設計業務委託料を計上し、練習会場も含めて施設の配置を検討することとしている。

問 レスリング競技の選手強化に向け、幼稚園児から高校生まで指導できる環境を整えるべきではないか。

答 市内高校のレスリング部設置も含め、関係者と連携して選手の育成、強化などの環境整備に努めていく。



一般質問

市内高校は
存続できるのか



安田 栄太



問 来年度の県立高校の入学定員が発表された。大東高校が30人減の90人になった。市内高校の存続を堅持したいという市長の決意を伺う。

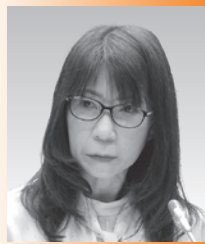
答 本市において市内高校は、本市を担う人材を育む重要な役割を担っている。将来にわたって市内3校を維持していくことは非常に重要と考える。
問 大東高校は直近2年間の入学者数が80人を切っている。このままでは定員削減が心配されたが現実となった。市はこのことをどのように捉えているのか。
答 高校の定員数は、中期での地域内の子どもの数や志望状況等を考慮して、県教委で検討され

る。市は定員を維持していくため高校と意見を重ねて必要な支援を行っていく。

問 仮に対応策が来年度予算に反映されても、高校の募集要項に反映されるのは令和7年度の入学からになる。今のスピード感でいいのか。
答 スピード感を持った対応が必要という点は強く認識している。可能な取り組みからスタートしている状況にある。

問 仮に対応策が来年度予算に反映されても、高校の募集要項に反映されるのは令和7年度の入学からになる。今のスピード感でいいのか。
答 スピード感を持った対応が必要という点は強く認識している。可能な取り組みからスタートしている状況にある。

子どもたちが
健やかに育つ環境を



上代 純子



問 保育所、こども園、幼稚園の冷房設置状況は。

答 公立16施設の保育室にはすべて設置済みだが、遊戯室は7施設で未設置の状況で、熱中症対策な

ど設備の必要性は認識している。順次、設置等を進める。

問 児童・生徒のタブレット端末の活用実態や効果は。

答 ICT指導主事を配置し、授業支援や教員のスキル向上を実施中で、今後も効果的に一人1台端末活用の授業実践を進める。



タブレットを活用した学習

問 ベビー用品の物価上昇が顕著だ。子育て世帯への対策や支援の考えは。

答 物価高騰下の生活者支援の視点で検討している。来年度に向け国や県の施策と連動した支援策の検討を進めている。

問 第2種運転免許取得要件緩和後、県内のバ

ス・タクシー会社は、人手不足の課題に向かつて若手を採用し、育成している。雲南市の事業者に対して、こうした動きを推奨する考えは。

答 市内タクシー事業者では、運転経験豊富な方の採用が行われており、若手人材の確保には至っていない。引き続き人材確保支援策について、事業者との意見交換を進めたい。

問 少子化が急速に進み、雲南市でも保育所に入所する園児が少なくなる傾向である。園児数によって委託先への事業運営費が決められるため、持続的な事業運営に大きな影

継続可能な保育所の
委託支援を



上代 和美



響を与えている。赤字が続けば事業の継続ができなくなるが、現状をどう認識されているか。

答 急激な少子化の進行等により、人件費の確保等事業運営に苦慮されている現状もあると認識している。(子ども政策局長)

問 今後、少子化が進むことは避けられない。保護者や職員、子どもたちの不利益にならないことを前提に、保育所、幼稚園、認定こども園の在り方を検討すべきだ。

答 入所児童数に応じた定員管理を行いながら、事業者の持続的な運営がはかれるよう意見交換を重ね、将来的な施設の在り方など議論していく。



一般質問

ドローン×AI 新たな防災システムのイメージ



出典：総務省ホームページ
自治体DXの推進 (https://www.soumu.go.jp/denshijiti/index_00001.html)
内部DX参考事例集 17番目
https://www.soumu.go.jp/main_content/000878697.pdf を加工して作成

問 急速に進化する生成AIは、様々な分野で導入が検討されているが、本市における導入の可能性と活用法は。

答 プライバシーや著作権侵害等のリスクも高い一方、24時間対応可能であることやケアレスミスを自動で探す等のメリットもある。DX推進体制



松林 孝之

進化する生成AIへの対応を



問 8月に公開され、2年後には自治体や官公庁にも提供予定とされるドローンとAIによる、新たな防災システムを導入してはどうか。

答 ドローンデータとAIの活用には大きな可能性があると認識している。今後新しい技術や情報、また、コストや有効性を検証し導入検討を進める。

問 新型コロナウイルス蔓延以降、市内、県内の事業者数の減が著しく、その要因のひとつが人手不足である。本市独自の地域人材共有事業を構築してはどうか。

答 特定地域づくり協同組合制度は、都会地から地方へのUITターン者を対象とした国の人材共有事業である。今後、様々な視点で当事業の活用が可能かどうか研究する。

問 全国学力・学習状況調査での雲南市の小・中学校の平均正答率（％）を問う。

答 小学6年の国語が66、算数が60。中学3年の国語が67、算数が44、英語が42。全国との比較では、どの科目も下回る。

問 学力だけが教育内容ではないが、基礎学力は重要と考えるがいかがか。

答 学力育成プロジェクトに取り組み、思考力、判断力、表現力育成を進めている。

問 民生委員制度だけでなく、地域包括ケアシステム等も整い、高齢者、障がい者等にとっては、対応してもらえらる幅が広がった。高齢化社会になると、適任者の選出に苦



宇都宮 晃

全国学力・学習状況調査



問 岐阜県中津川市では、デジタル障がい者手帳アプリ「ミライロID」を活用している。これは、スマホに障がい者手帳の情報を登録しておくもので、手帳を持ち歩かないのが最大の利点である。



中村 辰眞

障がい者手帳の
利便性向上を



労する現状である。これについての所見を問う。

答 民生委員制度は、社会奉仕の精神に基づき、共助の理念の下で構築されてきたもので、社会福祉の増進に多大な成果を上げてきた。また、生活保護の申請に伴う調査、意見書などもお願いしている。現状を分析し、担い手の確保に向けた検討と対応に努める。

問 「ミライロID」は、民間企業が行っているサービスだが、マイナポータルとの連携もできる。障がい者手帳の情報をスマホに取り込み、情報をスマホの画面に表示する機能がある。公共機関や商業施設において、障がい者割引を利用する際に「ミライロID」を提示することで割引を受けられる。本市では、体育施設等で利用できることもある。「ミライロID」等の活用については、スマホを提示することで割引などの利用ができ、人前で障がい者手帳を提示しなくてもよいなどの意見も聞いているので、市としては、周知を行いながら公共施設など、市が関係するところへ「ミライロID」が使えるよう協力要請をしていきたい。



一般質問

お節介的な木戸道
除雪の仕組みを



白築 俊幸



問 高齢者等に対する屋根の雪降ろしと避難路の除雪については、各年度4万円を限度とし、その2分の1を補助する緊急除雪費補助事業がある。この事業の対象は、65歳以上の高齢者、中学生以下の者とその母、等によって構成される世帯のみに限定され、さらには住民税非課税世帯とされている。民生委員が訪問している世帯は非課税世帯に限らないため、その訪問する際の通路確保のためにも、非課税世帯要件をなくしてはどうか。

答 公金を充てる以上、社会通念上、補助対象として理解を得やすいことを基準としている。

問 高齢者世帯の除雪に

ついては、支援したい側の判断により、お節介感で実施できるような仕組みにしているかどうか。

答 現行制度の中では、除雪を希望される方の判断による規定となっているが、地域自主組織で独自の制度を作っておられるところもある。補助制度は3年毎に見直すことになっており、今後より良い制度にしていきたい。

実効性ある原発
事故避難計画か



細田 実



問 原子力発電所事故の避難計画について病院、福祉施設等の避難計画の実効性について検証されているのか。実効性あるものかの確認が必要ではないか。

島根県も認めているよ

うに避難計画は各病院が作っているけれど、それが実効性あるものか点検されていない。誰が指導するのか。

答 県と市が共同して行なうことになっている。現時点ではそこまでチェックはできていない状況だ。

問 実効性ある避難計画向上に点検作業をするのか。

答 今後、県の動きと連動しながら、市においても点検等行ってまいりたい。

問 神楽の宿は神楽の振興や「瑞風」の立ち寄り先として雲南市の印象を伝える重要な施設だ。そこが茅葺屋根に草が生えている状況だが修理すべきではないか。

答 雲南市にとって重要な観光施設であり、市内の観光施設の状況を鑑みつつ、葺き替えを計画的に検討したい。



屋根の葺き替えが必要な神楽の宿

コロナを総括し
次へ備える



周藤 正志



問 新型コロナウイルスはまだ終息していないが、5類へ移行し4か月が経過したことから、将来必ず到来する次なるパンデミックに備えるために、これまでの状況と対応を総括し

ておく必要がある。市民の健康や生活及び地域経済にどれだけの影響があり、何が変わったのか。これに対し国・県・市がどう対応し、対策の効果はどうだったのか。今後に生かすことは何か。

答 行動規制など市民生活や経済活動に大きな影響を及ぼした。主な対策は、ワクチン接種と医療体制の確保、収入が低下した方や事業者への支援だが、医療崩壊は防げ、生活や事業支援はセーフティネットとして効果があった。専門機関の機能発揮と連携が重要で、共助が大きな力となった。

問 人権意識を高め、医療を守り経済をいかに回していくかが重要だ。露呈した脆弱な部分を作り直し、リーダーが科学的根拠に基づいて方針やメッセージを出すことが、安心安全につながるのではないか。

答 重要なことと思う。

島根県市議会議長会

議員研修会

議長

矢壁 正弘



研修の様子

7月11日、大田市において島根県市議会議長会議員研修会が開催され、17名の議員が参加しました。

研修会では、島根大学教育学部教授の作野広和氏より「中山間地域の現状と今後の方策」と題し講演をいただきました。

講演では、中山間地域の問題点として、少子化は昭和35年から始まっていったことから、地域維持のための人材不足が進み、日常生活に必要なサービスの低下等、深刻な状況にある。

これからの地域コミュニティに求められる対応は、人口減少に対応できる地域の「充実」、むらの「減築」であり、年代や目的が異なる団体が地縁でつなが

議会と語ろう会を開催予定です

11月上旬から中旬の間で開催する予定です。よろしくお祈りします。



る地域運営組織の構築も一方策で全国にその例もある。

また、無住化が確実視される集落に対しては、行政機関や他地域の住民が積極的に関わりを持ち、居住者のQOL（生活の質）を維持しつつ「暮らしのおさめ」と言う対応もあるとの説明もされました。

現在、本市もこうした状況の真只中にあります。市議会としても、研修で学んだことを参考にし、市民全てが笑顔で幸せを感じて暮らせる地域づくりを目指します。

台湾彰化縣二林鎮議員団表敬訪問



9月26日、台湾彰化縣二林鎮議員団が雲南市議会を表敬訪問されました。

二林鎮と雲南市は、今年5月に友好協力の確認書を交わしています。

蔡詩傑鎮長、二林鎮民代表會 許秀治議長、洪啓佑副議長をはじめとする10名の議員団を議場にお迎えし、市議会を代表して矢壁正弘議長が「今回の交流を踏まえ、今後研修や修学旅行を通じた文化交流、米や特産品の販売拡大など経済交流の更なる発展を祈念する」と歓迎のあいさつを述べました。その後議員団は、雲南市議会9月定例会を傍聴されました。

編集後記

毎日のように、アメリカ大リーグの大谷翔平選手の活躍する姿がテレビや新聞で報じられ、日本中を明るくしてくれました。

投手として、打者として、二刀流でファンを喜ばせるだけでなく、打席に立つときはいつも審判とキャッチャーに挨拶をします。盗塁で滑りこんだとき、相手選手のスパイクの上の砂をなげなく手で取り払う。相手の選手も大谷選手の背中にタッチして「ありがとう」を表す。この様子を見ている日本中の子どもたちは、それがいかに大切なことを幼い頃から勉強できます。

この様子が世界の隅々まで伝われば、争いごととも少なくなり、ウクライナとロシアがスポーツで競い合い、試合後はお互いに抱き合って相手を尊重するシーンも夢ではありません。

雲南市内の明るいニュースを集めた「市議会だより雲南」が編集できればと思います。

請願・陳情の提出について

12月定例会の請願・陳情は12月5日（火）17時までに、議会事務局へ直接提出して下さい。

上記の受付期間を過ぎた請願・陳情は、3月定例会での審査となります。

議会広報広聴特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 安田 栄太 |
| 副委員長 | 上代 純子 |
| 委員 | 児玉 幸久 |
| | 鶴原 能也 |
| | 梶谷 佳平 |
| | 宇都宮 晃 |
| | 藤原 信宏 |
| | 白築 俊幸 |

◆発行：雲南市議会 ◆編集：議会広報広聴特別委員会 ◆住所：島根県雲南市木次町里方521-1

雲南市議会事務局

電話：(0854) 40-1004 FAX：(0854) 40-1009 MAIL：gikai@city.unnan.shimane.jp